

# ピープルデザインの考え方を活用したダイバーシティのまちづくりの推進について

## 1 趣旨・目的

■ピープルデザイン(ピープルデザイン研究所が提唱する心のバリアフリーをクリエイティブに実現する思想や方法)の考え方を活用して、2020年東京オリンピック・パラリンピックや 市制100周年(2024年)に向けて、様々な地域資源を活用しながら、心のバリアフリーに向けた実践をCity Capital(地域の資産)と捉え Civic Pride(市民の誇り)を高め、人が自然に混ざり合うDiversity(多様性)のまちづくりをめざす。

## 2 ピープルデザインの基本的な考え方

- ◆約6%の国民は何らかの障害がある。この障害(ハンディ)があるために、必要以上に分離した形で留まるのではなく、ハンディを可能性に変え、人々の意識のバリアを溶かし、障害があってもなくても人が自然に混ざり合った空間をつくるのが、継続して社会の中で働き、生活することにつながる。
- ◆スポーツ、エンターテイメント、ファッションといったワクワクするコンテンツを通じ、人の動きを触発するようなきっかけをクリエイティブに楽しくデザインすることにより、マイノリティと言われる人々との共生を促すダイバーシティのまちづくりを目指す。

## 3 3つの方向性

① Diversity (多様性) の実現

② City Capital (地域の資産) の向上

③ Civic Pride (市民の誇り) を持つ

## 4 4つの戦略

◆2020年 東京オリンピック・パラリンピックを見据えた事業展開 ◆2024年 市制100周年に向けた取組みの推進

### ① ヒトづくり

職員、子ども、企業、市民へ、心のバリアフリーの意識の普及啓発を行う

### ② コトづくり

様々なコンテンツを活用して、マイノリティが社会に混ざりあう取組を実践する

### ③ モノづくり・マチづくり

企業と連携し、福祉製品の品質向上や販路拡大、福祉製品による産業振興を図る

### ④ シゴトづくり

マイノリティの就労機会の創出、賃金アップにつながる取組を進める

## 5 今後の展開予定

- 市役所職員向けの人材育成
  - ・既存研修等を活用し職員の意識改革(都市政策研究会8月27日(水)、職員研修、宮前区職員研修11月26日(月))
- 学校などを通じた子どもたちへの心のバリアフリーの普及啓発 ●企業の人材育成、企業の社会貢献活動の誘発
- 広く市民全体の行動の誘発、福祉人材の育成 ●地域交流などを通じた取組の検討
- スポーツコンテンツの活用
  - ・川崎フロンターレと連携し、ホームゲームにて障害者の就労体験や清掃活動(10月22日(水)、11月2日(日))
  - ・ブラインドサッカー協会と連携し、ラゾーナ川崎でブラインドサッカー体験・トークショー(10月5日(日)雨天により中止)
  - ・富士通フロンティアーズ(アマフト)と連携し、ホームゲームにて障害者の就労体験や清掃活動(9月7日(日))
  - ・富士通レッドウェーブ(女子バスケット)と連携し、ホームゲームにて障害者の就労体験や清掃活動(11月15日(土)、16日(日))
  - ・川崎国際多摩川マラソンでの障害者の就労体験(11月16日(日))
- 映画・音楽・芸術コンテンツの活用
  - ・パイオニア(株)との連携により、プラザソルで「夏休みピープルデザインシネマ」開催(8月23日(土)) (障害者の就労体験、トークショー、聴覚障害者用体感音響装置を使った上映)
- 街のにぎわい空間の活用
  - ・チネチッタ、ラゾーナ川崎、武蔵小杉、武蔵溝の口、等々力緑地、生田緑地、新百合ヶ丘などでの展開
- 誰もが知っているイベントの活用
  - ・川崎ハロウィンにて、NPOグリーンバードと連携し、マイノリティの方々のイベント参加(10月25日(土)、26日(日))
  - ・多様な主体と連携して様々なイベントの展開
- 企業と連携した混ざり合いの空間づくりに向けた取組み
  - ・福祉施設製品が身近になるよう製品のリニューアルプロジェクトを開始(ものづくりセミナーの開催(H25年度 全7回)等)
  - ・ものづくり販売促進フェア(マルイファミリー溝口にて福祉製品(製菓、雑貨)販売)(10月23日~31日)
  - ・ピープルデザインシンポジウムの開催(渋谷区の超福祉機器展に合わせ11月14日(金)に開催)(オランダのデルフト工科大学リチャード・グーゼンス教授講演会、トークセッション、ティーチイン、親睦会等)
  - ・サイバーダイン株式会社と連携した取組の検討
  - ・ウェルフェアイノベーションフォーラム、かわさき基準推進協議会への参加の検討
- 付加価値の高い製品創出に向けた取組み
  - ・デザイン振興施策にピープルデザインの考え方を取り入れた事業展開 ●コミュニケーションチャームの製造の検討
- まちづくりへの展開 ●民間活力によるダイバーシティ・マンションの促進に向けた取り組み
- 福祉事業所に通う障害者の方々の就労体験の実施
- 福祉事業所の新しい仕事の創出や工賃アップを目指した施策の展開
- ICT治具などの新たなツールを活用した仕事づくり
  - ・子どもから障害者・高齢者まで、誰でもホームページ制作できるICT治具などを活用した展開

## ピープルデザインのイメージ

マイノリティを分離ではなく自然な混ざり合いを 意識のバリアを飛び越えよう

意識のバリア  
声かけたいけど... 助けたいけど... 躊躇

ワクワクするコンテンツで展開

「ダイバーシティのまちへ」  
自然な声掛け 笑顔 安心感

例えば、サッカーの試合で障害者が社会に混ざり合う職業体験

## 6 推進体制等

### ① 包括協定の締結

川崎市とNPO法人ピープルデザイン研究所の包括協定を締結する(7月15日(火))

### ② 庁内推進体制の確立

- (1) 庁内推進本部
- 本部長 : 市長
  - メンバー: 3副市長、総務局長、総合企画局長、財政局長、市民・子ども局長、子ども本部長、経済労働局長、環境局長、健康福祉局長、まちづくり局長、建設緑政局長、港湾局長、教育長、全区長
- (2) 幹事会
- メンバー: 推進本部委員所管局企画課長 関係各課

### ③ 新たな総合計画等での検討

様々な計画づくりにおける方向性の検討

### ④ 情報発信

様々なメディアやツールを通じた情報等の発信



# ピープルデザイン関連直近事業(例)

平成26年8月23日(土)ピープルデザインシネマ



健康福祉局  
総合企画局

～ピープルデザイン川崎プロジェクト第1弾×障害者雇用・就労促進かわさきプロジェクト第3弾～

## ピープルデザイン川崎プロジェクト始動

「映画」を通じて、障害のあるなしに関わらず混ざり合うダイバーシティのまちづくりを提案。

川崎市では、「川崎市障害者雇用・就労促進行動計画」に基づき、障害があっても働く意欲を実現できる社会づくりをめざし、「障害者雇用・就労促進かわさきプロジェクト」として30の行動にチャレンジしています。プロジェクトの一つとして、「心のバリアフリー都市川崎」を目指し、ピープルデザイン川崎プロジェクトとの連携による取組の第1弾として、「夏休みピープルデザインシネマ」を開催しました。

**開催概要**

**開催日時**  
平成26年8月23日(土) 16時上映開始

**場所**  
ラゾーナ川崎プラザソル(ラゾーナ川崎 5F)

**来場者**  
170名

**上映作品**  
「グレートデイズ! 一夢に挑んだ父と子」(8月29日公開)

**企画**  
主催: NPO法人ピープルデザイン研究所  
共催: 川崎市  
協賛: バイオニア株式会社、アルファ ロメオ(フィアット クライスラー ジャパン)  
協力: ギャガ株式会社、NEXTIDEVOLUTION

**ピープルデザインシネマ展開内容とそのポイント**

- 障害のある方の就労体験「映画のイベントで働いてみよう」  
スタッフ総勢27名のうち障害のある方9名が、会場設営や会場入口での受付業務・チラシ配布業務を展開
- 体感音響システム「音を振動で体感してみよう」  
聴覚障害のある方に、バイオニア株式会社が開発した、体感音響システム(音を振動で感じて、楽しんでいるための装置)にて、映画を楽しむスタイルを提案
- トークセッション&ティーチン  
違いを個性と捉え、ハンディを可能性に変えることをテーマに、パラリンピアン山田選手(ロンドンパラリンピック水泳4位)や舞踏ダンサーuCCIなどのゲストと来場者の皆様との対話を展開


**来場者感想(主なもの)**

- ・観る人みんなに元気を与えてくれる映画でした。これからの川崎が楽しみです!
- ・川崎市のNPOと企業とのナイスコラボに感服を振られました。
- ・次代を担う世代たちが、これからもっとピープルデザインのコンセプトに触れ、感じられる機会を増やせば、川崎は大きく変わると思います。
- ・笑顔で何か私にできることがありますかと話しかけられたらと思う。

**就労体験者感想(主なもの)**

- ・映画の舞台づくりに自分が関わったのが良かった。
- ・お客さんを迎えるのは初めてだったが楽しかった。自信になった。
- ・まだやりたい。

平成26年10月22日(水)川崎フロンターレ就労体験



健康福祉局  
総合企画局  
市民・こども局

～ピープルデザイン川崎プロジェクト第4弾×障害者雇用・就労促進かわさきプロジェクト第7弾～

## ～川崎フロンターレホームゲーム 障害者就労体験～

J1 リーグ第29節 VS サガン鳥栖(10月22日19時～) in 等々力陸上競技場

川崎市では、「川崎市障害者雇用・就労促進行動計画」に基づき、障害があっても働く意欲を実現できる社会づくりをめざし、「障害者雇用・就労促進かわさきプロジェクト」として30の行動にチャレンジしています。プロジェクトの一つとして、「心のバリアフリー都市川崎」を目指し、ピープルデザイン川崎プロジェクトとの連携による取組として、「川崎フロンターレホームゲームでの就労体験」を開催しました。

ワクワク・ドキドキの空間で、約10000人の来場者をお迎えするスタッフ約50名に障害のある方7名が混ざり合いながら、楽しく仕事をしている空間を作り出していました!

**概要**

**就労体験時間**  
平成26年10月22日(水) 14時45分～19時ゲーム開始まで

**就労体験場所**  
7ゲート、10ゲート、(マッチデープログラム販売場所)

**就労体験スタッフ**  
市内3事業所の皆さんが今回は就労体験を行います。  
\*約50名のボランティアスタッフに混ざっての作業となります。

- ・宮前ハンズ(宮前区有馬) 3名
- ・おかし工房しいの実(中原区木月伊勢町) 2名
- ・南部就労援助センター(川崎区南町) 2名

**仕事内容**

- ・ホームSゾーン座席拭き
- ・入場ゲートでフライヤー等配布
- ・マッチデープログラム販売・呼び込み

**就労体験者感想(主なもの)**

- ・自宅近くでの開催だったので、一生懸命やってみようと思った。
- ・声をかける(挨拶をする)タイミングが難しかった。
- ・少し焦った。チラシをもらってよかったです。
- ・少し選手の役に立てたと思う。・ゲームスタッフの一員になれた感じがした。
- ・働く意識が芽生えたと思う。・人の役に立てよかったです。